

中学校生活最後の体育大会

私は今回の体育大会を通して、自分自身が大きく成長でき、クラス、団、学校全体の絆が深まったと思います。夏休み前から考えてきた応援コンクールでは、1・2年生の団の子にうまく教えることができず、強く言ってしまうときもありました。でも、最後の最後まで文句一つ言わずについてきてくれて、本番ではとてもいい演技ができたと思います。綱引きでは練習の時に1勝もできなかった私たちが、優勝と2位をとることができて、本当にうれしかったです。悔しい思いをした長縄やリレー、そして応援コンクール。どれも3年間で一番思い出に残るものになりました。団の仲間を応援したり、個人種目で真剣に戦っていたりする姿を見て、とても感動しました。最後にみんなが涙を流していて、悔しいけれど、それだけがんばった証拠だと思いました。応援団として大変なときは多かったけれど、この団で体育大会ができてよかったです。団長、団のみんな、団の先生に感謝したいです。

赤団（1組）

私は今年の体育大会が一番楽しかったです。自席での応援では普段なかなか話せない子と、声がかれるまで声を出して、タオルを振りながら、2人で「応援馬鹿だね」と言い合うぐらいまで全力で応援しました。種目では、悔いが残ってしまったものもあり、昼食の前はかなり落ち込んでいました。練習でできたことが本番でできなくて、悔しくて気持ちが下がりが気味だったけれど、応援からは気持ちをきりかえて「本気本気」でやろうという思いに変わりました。長縄では団優勝、リレーも1位ばかりで、団全体がまとまった気がしました。応援コンクールは今までの練習より声を出して踊ったけれど、優勝することはできなかったです。けれど、黄団全員で踊ることができて、本当に良かったと思います。本番までの練習は無駄ではなかったし、1回1回の練習が楽しくて、放課にも踊ってしまうぐらいのものができ、衣装をつくる時には案を出し合って、自分たちらしいリボンやタスキをつくることのできるなど、思い出がたくさんできました。今回の体育大会が最後とは思えなかったけれど、一番思い出に残った体育大会でした。

黄団（2組）

昨日、最後の体育大会が終わりました。結果は応援コンクール優勝、総合で2位と、よいものになりました。こんなによい結果に終わったのは、僕たち桃団の「団結力」が強かったからだと思います。僕が一番団結力の強さを感じたところは、桃団の学年が競技しているときに全力で応援していたところです。綱引きや長縄の時の応援はどの団よりも迫力があり、すばらしいものだったと思います。そのおかげで、男子の綱引きでは優勝でき、長縄では今までで一番たくさん跳べました。応援コンクールでは3学年全員の息を合わせ、動きをそろえて、みんなで大きな声を出し、優勝という最高の結果を勝ち取ることができました。僕は応援コンクール優勝という結果は妥当だったと思います。なぜなら、それだけ努力をしてきたからです。クラスの半分以上の人が放課後に残り作業をしていたところは、とてもよかったです。「努力は必ず報われる」その言葉は体育大会が終わってからとても好きになりました。最後の体育大会はとても楽しく、とてもうれしかったです。そして、努力をすれば結果がついてくるのが分かったので、合唱コンクールでも桃団の力を合わせて優勝できるようにがんばりたいです。

桃団（3組）

僕は今年の体育大会が一番いい思い出になりました。特に応援コンクールは、すごくいい思い出になりました。最初のころは、全然声が出ていなかったし、動きもそろっていなかったけれど、団長や副団長がみんなに注意してくれたおかげで、みんな声ができるようになってきました。そして、前日に行ったりハーサルでは今までよりも大きな声を出せるようになり、すごいと思えました。本番では、みんな今まで以上に声が出ていて感動しました。優勝はできなかったけれど、赤団で応援コンクールをすることができて本当によかったです。個人では、走高跳で1位になれたことが、うれしかったです。本当にこの体育大会は最高の思い出になりました。



赤団（4組）